

宮平自治会行政懇談会 質問と回答【全質問】

質問１ ウガンヌ前公園における夜間の防犯対策等について

ウガンヌ前公園では、夜間、日常的に中高生等がたむろし、以下のような問題が発生している。

①火遊び、②器物破損、③飲食行為、④トイレ周辺の汚損、⑤深夜の騒音、⑥ごみの散乱・投棄

そのため、地域住民は常に不安を抱えながらの生活を余儀なくされており、地域住民や自治会から警察への相談も行っているが、根本的な解決には至っていない。

（１）町が防犯カメラなどの対策を講じているにもかかわらず、違法行為や迷惑行為が後を絶たない。このような状況に対し、町として今後どのような対策を考えているのか伺いたい。

夜間は警備会社によるパトロールを実施、違法・迷惑行為や施設被害の発生時には、直ちに警察へ通報し被害届けを提出します。これらの状況は指定管理者や教育委員会等へ速やかに情報共有し、一体となって対応してまいります。

また、与那原警察署に継続して公園付近のパトロール強化を要請していきます。警察署からは、「ウガンヌ前公園は多方面から出入りできる特性上、事案を把握した際の 110 番通報が効果的である」との助言をいただいております。

区民の皆様におかれましても、不審な事案を見かけられた際は積極的な 110 番通報へのご協力をよろしくお願いいたします。

また、青少年の非行防止や健全育成は、町と地域が一体となって取り組むことが大切であると考えておりますので、引き続き、宮平区のご協力をよろしくお願いいたします。

質問1 ウガンヌ前公園における夜間の防犯対策等について

(2) 町が実施している夜間パトロールの報告書には、問題となっている違法行為や迷惑行為などが記載されておらず、実態が把握できていない。

現場の実態を把握するためにも詳細(日時・場所・違法行為・人数など)を報告書に記載していただきたいが、町としての対応を伺いたい。

巡回時に確認した事項については、これまでも報告書に記載しておりますが、いただいたご意見は警備会社と共有し、今後は現場の状況をより丁寧に確認するとともに、確認した事項が適切に報告書へ記載されるよう、報告内容の充実に努めてまいります。

質問1 ウガンヌ前公園における夜間の防犯対策等について

(3) 巡回パトロールの報告書などを踏まえ、現場の実態を把握・分析したうえで、問題解決に向け指定管理者との対策検討の場を定期的に設けてもらいたい。また、関係機関(教育委員会や警察等)との連携も密に行っていただきたいが、町としての考えを伺いたい。

今後も庁内各部署や、警察等の関係機関と情報共有を図り、指定管理者等との協議の場を設けるなど、現場の実態に応じた適切な対応を一体となって行います。

質問１ ウガンヌ前公園における夜間の防犯対策等について

（４）現状を踏まえた早期解決策として、照明施設や防犯カメラの増設及びドローン活用などを優先的に行っていただきたいが、町としての考えを伺いたい。

ご提案いただいた対策につきましては、今後の防犯体制全体の見直しの中で、有効な対策を指定管理者と協議しながら検討してまいります。

質問2 ウガンヌ前公園の指定管理料について

ウガンヌ前公園では、宮平自治会が指定管理者として清掃や除草などの維持管理を行っている。町からの管理費用の支払いがなく、除草や清掃等の維持管理費は自治会が負担している状況である。自主財源の乏しい自治会においては大きな負担となっている。

(1) 町の条例において「町が支払うべき管理費用に関する事項について協定で定めること」と明記されているにもかかわらず、管理協定には管理費用に関する事項が定められていない。早急に協定書を改定し、管理費用を支払っていただきたいが、町としての考えを伺いたい。

町と宮平自治会との管理に関する協定書の締結に際しては、当時の事前協議において「町から支払うべき費用は発生しない（無償）」という条件で双方が合意し、協定を締結したため、管理費用に関する事項は記載されなかったものと認識しております。本町の条例の規定は、町が管理費用を支払う場合の取扱いを定めたものであり、当時の協議内容に基づき、管理費用は発生しないものとして整理されております。ご要望につきましては、指定管理を行っている他の公園の状況も踏まえながら、今後の管理のあり方について、自治会と協議を行ってまいります。

質問２ ウガンヌ前公園の指定管理料について

（２）管理費用については、遅くとも令和９年度から予算化していただきたいが、町としての考えを伺いたい。

管理費用の予算化は、現時点で具体的な時期をお示しできる状況にはございませんが、ご要望も踏まえ、指定管理を行っている他の公園の状況も勘案しながら、自治会と協議を行ってまいります。

質問２ ウガンヌ前公園の指定管理料について

（３）不明となっている役割分担やリスク分担等についても、管理協定に定めていただきたいが、町としての考えを伺いたい。

役割分担やリスク分担は、ご要望も踏まえ、指定管理を行っている他の公園の状況も勘案しながら、自治会と協議を行ってまいります。

質問3 宮平川の氾濫対策について

宮平川周辺では、約半世紀にわたって、道路冠水が繰り返し発生しており、2021年には線状降水帯により20台以上の車が水害に遭うなど、冠水対策は未だに根本的な解決には至らず、宮平地域の最重要課題となっている。

このような状況を踏まえ、先般、町において宮平川の浚渫工事を行っていただき、大変感謝している。

しかしながら、土砂の堆積及び雑草類の繁茂は、今後とも繰り返し発生することが想定されることから、周辺住民の生活には常に冠水の不安がつきまとっているのが実情である。

(1) 宮平川の氾濫の対策について、町の取組方針を伺いたい。

回答のまえに、現在の河川の災害対策（カメラ）について説明いたします。（資料で説明）

現在、町の取組としまして、情報提供や防災意識の向上を図るため、ハザードマップを作成しており、ハザードマップには沖縄県が公表する河川氾濫を想定した洪水浸水想定区域図を反映しています。今後は、内水氾濫も想定したハザードマップについても更新予定となっております。

整備工事等による対策（ハード対策）として、雨水排水ポンプの設置と排水溝の断面改修を行う計画としています。今後の予定としては、令和9年度に雨水排水ポンプの詳細設計、令和10年度以降に整備工事を予定しています。

質問3 宮平川の氾濫対策について

(2) とりわけ、雨季前の浚渫については、冠水を未然に防ぐ観点から、浚渫を必要とする基準を明確に設定し、継続的に浚渫できるよう、予算措置をお願いしたい。

現在、宮平川、長堂川、安里又川の3河川において、毎年順次、計画的に浚渫を行っております。今後におきましても、現地の土砂の堆積状況等を確認しながら、必要な浚渫を継続して行っていまいります。